

学校教育目標

自ら学び考え
主体的に行動する
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり
瞳輝く東中生

学校だより 瞳ひとみ輝かがや く

第14号 令和5年3月24日 川越市立東中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

令和4年度修了式 一部抜粋

先日の卒業式の式辞で校歌の歌詞について卒業生に伝えました。3番の歌詞が集大成の3年生に向けたことばそのものとなっているということです。それと同様に1番の歌詞は、「若きかりがね ここに育つ」とあるように1年生が東中学校で様々なことを学び、基礎基本を身に付ける様子を表しています。2番の歌詞は、「真実(まこと)求めてひたすらに 日々を悔いなく」として自主自律、工夫と発展の2年生の様子を表しています。

また、校歌の3番の「えんじの校旗」は、開校当初に作られたもので今までに12,684名の卒業生を送り出しました。地域には、東中生徒の皆さんを応援してくださる卒業生がたくさんいらっしゃいます。

中学校生活は、3年間です。生徒

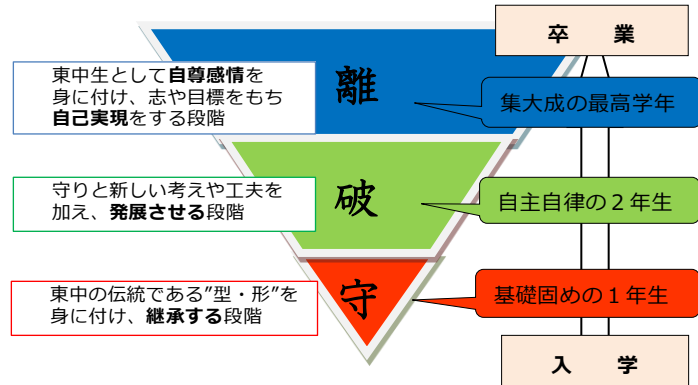
の皆さんにとっては、長いようでもあるし、短いような気もする3年間となりますが、人間の一生の中で一番とっていいほど大きく成長する時期です。皆さんの中には、あまり成長した実感がない、あまりそう思わないという人もいるかもしれませんが。そこで東中学校では、生徒自身が成長を実感できるように様々な取組を行ってきました。また、皆さんが自分自身の成長を実感するために必要なこととして教科の勉強だけでは身に付けることのできない「学習」を進めました。

一つ目に「ソーシャルスキルトレーニング」について学校生活を充実させるためにも社会に出た時に必要なこととして学校全体で取り組みました。人は皆、一人一人違いがあります。違いを理解したり、よいところを認め合ったりすることで学校生活や社会の中での生活がしやすくなります。

二つ目に「進路・キャリア学習会」は、将来に向けてどのように学ぶか、活動や視野を広げるかということとして今年、スタートしました。3年間で様々な職種を学んでいきます。

三つ目に「防災に関する知識を身に付ける」ことで「自分の命を自分で守る」行動が「周りの人の命を守る」ことにつながることを目指します。

日々の取組は、大きく進むことも進まないことも成果が出ることも出ないこともたくさんあります。中学校時代にたくさんを経験し、社会に出るための準備をしていきましょう。たくさんを経験が、自信となって積み重なっていくはずですよ。



川越市立東中学校校歌

一 秩父の山並そびえ立ち
富士の峰また揺るぎなし
見よその姿 仰ぎつつ
あすの時代を飛びかける
若きかりがね ここに育つ
東中 川越東中学校

二 荒川流れて 果てしなく
人間の水 また 休みなし
ああ その行く手 望みつつ
真理求めて ひたすらに
日々を悔いなく 学び励む
東中 川越東中学校

三 ひらめく えんじの 旗の下
若き夢 また 限りなし
さあ そのひとみ 輝やかし
進め 緑の風の中
未来めざして 力強く
東中 川越東中学校